



地域を育み 大陸をつなぐ

4つのテスト

● 真実かどうか

● みんなに公平か

● 好意と友情を深めるか

● みんなのためになるかどうか

国際ロータリー第2660地区

吹田西ロータリークラブ ウィークリー 2010-2011

■ 創立 1980.6.12

事務所 ☎564-0051 吹田市豊津町9番40号 江坂東急ビル1F
☎(06)6338-0832 FAX(06)6338-0020
URL <http://www.suita-west-rc.org>

例会場 新大阪江坂東急イン
☎564-0051 吹田市豊津町9番6号 ☎(06)6338-0109

例会日 毎月曜日 18:00~19:00
役員 会長：村井正雄 幹事：渋谷清明 会報委員長：佐藤洋一

～伝えつなぐ30年 笑顔一杯～
“たしかなこと”

第1379回 例会 平成22年7月5日

卓話「新年度の挨拶」 村井会長
坂口副会長
渋谷幹事
阿部SAA
今週の歌「君が代」「奉仕の理想」

先週内容

次 会長挨拶 仲辻会長

本日は卓話がありますので、後ほどご挨拶させていただきます。

次 30周年実行委員会 橋本(徹)委員

創立30周年記念を迎えるにあたり、30周年実行委員会では、多くの方に感謝を伝えようとして取り組んでまいりました。その中で、式典の中でも感謝の気持ちを伝えさせていただきましたが、やはり創立当初から頑張ってきていただいた5名のチャーターメンバーの方々に改めて感謝の気持ちを伝えたいと思います。

実は、式典のとき、5名のチャーターメンバ

次週 第1380回 例会予告 平成22年7月12日

卓話「新年度理事挨拶」 クラブ奉仕 右松理事
職業奉仕 長屋理事
社会奉仕 本田理事
国際奉仕 澤井理事

Weekly No. 1379は岡委員長が担当しました。

Weekly No. 1380は佐藤委員長が担当の予定です。

(本日の原稿をお渡し下さい)

一の方をお願いして、来賓挨拶5名のエスコートをするアテンダー役をしていただくようになっておりました。リハーサルの結果、かなり時間が押してしまうことが分かったので、本番スタート1時間前にアテンダー役をなくすことになりました。

しかし、そんな出番をつくらなくても、祝宴が始まり、司会席から見ておられますとやはりチャーターメンバーの方々がビール瓶を持って多くのお客さんに率先してビールを注ぎに回っておられる姿が見えました。ちょうど結婚式の新郎新婦のご両親のように見えました。そんなこの吹田西ロータリークラブを引っ張ってきていただいた、チャーターメンバーの皆さんに感謝の気持ちを伝えたいと思います。



中堀和英パスト会長
梶山高志パスト会長
瀧川紀征パスト会長
鈴木基弘パスト会長
新井 清パスト会長

プレゼンターは、仲辻会長
家村実行委員長
小林副実行委員長
村井会長エレクト

「チャーターメンバー表彰の御礼」

中堀パスト会長

エメラルドのバッジありがとうございました。お心遣いに深く感謝しています。私がロータリーを続け得たのは、皆様の「情」のおかげです。3年前に妻を亡くしたときは人生最大の苦難でした。そのとき皆様の情愛を頂き生き抜くことができました。

最近、日本語から情愛・情深い・情を受けたというような言葉が少なくなりました。何とか取り戻したいです。私は会社でも「情のある仕事をしよう!」と呼びかけています。

年老いましたが、今しばらく頑張りたいです。今後ともよろしく願い申し上げます。ありがとうございました。

「チャーターメンバー表彰の御礼」

瀧川パスト会長

本日は、創立30周年を記念して、チャーターメンバーバッジを頂き誠にありがとうございます。

30年前の創立総会や、850人のゲストをお迎えして大盛会だったチャーターナイトを思い出しています。

40歳そこそこの未熟だった私は、多くの素晴らしい先輩に恵まれ、御指導を頂きました。また気の置けない心温かい多くのメンバーに囲まれ、楽しいロータリーライフをエンジョイさせてもらっています。

ロータリアンとして、古参の年齢に差し掛かりましたが、今後も皆さんのお邪魔にならないように「元気に楽しく」頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

「チャータメンバーの表彰を受けて」

鈴木パスト会長

吹田西RCを設立することが31年前の吹田RCで決まり、同クラブの名張隆政氏が特別代表、山出敬二氏（吹田西RCの二代目会長）が特別代表補佐として、鈴木と二人で新設・吹田西RCに移籍することになりました。

まず最初に、初代吹田西RC会長に当時大阪RCに在籍しておられた益呂健氏（当時大同生命の社長）を招聘し、次にチャーターメンバーの選定と勧誘などを名張氏・山出氏が進められる中、私はまだ40歳の若く働き盛りでしたので下働き役をさせていただきました。

そして、1980年6月12日、チャーターメンバー34名で共済会館新大阪（新大阪の近くの三国）にて、伊瀬芳吉ガバナーをお迎えして

設立総会を挙げていただきました。

最初の吹田西RCの事務所は大同生命のビルの一室を借りて使わせてもらい、当時の例会場（新大阪の近くの三国）まで例会設営の小道具を当時の事務局員の前畑さんと毎週車に載せて運んだことも思い出です。

そして、この東急インの建物が完成して例会場が現会場に移設した時に事務所も現在の事務所に変わりました。

あれから30年、吹田西RCの奉仕活動と国際交流は素晴らしい実績が有り、この事は30周年記念式典で皆さまも実感されたとおりで

です。その上吹田西RCの素晴らしいことは、会員皆様が常に友情の輪を大切にしてきたことで、今後とも伝えつなぐたしかな事にして頂きたいと思っています。

この度はチャーターメンバーとして30周年記念バッジを頂戴しましたが、これからも皆さまと楽しく過ごさせて頂けます様、よろしくお願いいたしまして感謝の言葉といたします。

「チャーターメンバー表彰の御礼」

新井パスト会長

長年に亘って、会員の皆様には温かい友情やたくさん感動をいただきありがとうございました。感謝いたしております。今後ともよろしく御指導御鞭撻お願いいたします。

幹事報告

清水幹事



1. 地区より地区大会記録が届きましたのでボックスへお配り致しました。
2. 吹田まつりのポスターが届きましたので掲示致しました。
 - ・7月10日(土)：ハートフルコンサートの夕べ
 - ・7月31日(土)：前夜祭
 - ・8月1日(日)：本祭り
3. 吹田青年会議所より「子育てお悩み解決講座」～親が変われば子どもも変わる～の案内が届きましたので回覧致します。
4. 今週7月1日(木)、創立30周年お疲れさん会をくりーん亭にてPM6:00より開催致します。
5. 創立30周年特集号（写真集）と、当日の集合写真をお配りしました。

6. 前回理事会にて、栢本会員の6月30日をもっての退会が承認されておりますので、ご報告致します。（ご本人の希望で本日発表致しました。）
7. 最後に、一年間本当にお世話になりました。この若輩者の幹事を皆様あたたかく支えていただき、本当にありがとうございました。



新旧理事懇親会



北摂12RC 新旧会長・幹事会開催

ゲスト 榎原委員

吹田江坂RC 栢本 淑子 様

出席報告 伊藤委員長

- 会員数 49名 ● 来客 1名
- 出席会員数 43名 ● 本日の出席率 93.47%
- 6月7日の出席率(メーキャップを含む) 100%

誕生御祝ー7月

会員

- 昭和12年 7月4日 水間会員
- 昭和19年 7月18日 石崎会員
- 昭和22年 7月22日 小林会員
- 昭和20年 7月31日 家村会員

以上4名

会員夫人

- 7月1日 橋本(芳)会員夫人
- 7月12日 井伊会員夫人
- 7月17日 阿部会員夫人
- 7月22日 本田会員夫人
- 7月27日 尾家会員夫人

以上5名

退会のご挨拶

栢本会員



新入会員第一号として1980年11月7日に入会させて頂き、30周年の創立を迎え私自身の定年、90歳になります母の一人暮らしを考えまして、ひとつの区切りとさせて頂きました。家内共々、演奏会・オペラ公演のたびに応援を下さり、又クラブの行事等にはお引き回し下さり誠に有り難うご座居ました。

今後益々のクラブの発展と、会員皆様方のご健勝・ご多幸をお祈り致します。

社会奉仕委員会 本田次期委員長

- ・7月1日(休)江坂企業協議会担当のクリーンデーです。サニーストンホテル前7:30集合です。大勢の方の参加お待ちしております。
- ・7月2日(金)「社会を明るくする運動」 駅頭宣伝
北急 江坂駅……家村・瀧川・木田各会員
阪急 豊津駅……阪本・本田各会員
阪急 南千里駅…永田会員 以上
- ・7月3日(土)「社会を明るくする運動」市民集会
吹田市文化会館(メイシアター)中ホール 13:30より
家田荘子さん講演会
「一緒に生きて行こう～あなたの愛を求めています～」
たくさんの参加お待ちしております。

会員増強委員会 橋本(徹)委員長

今年度4名の方に入会をしていただきました。入会に際して、ご尽力いただいたスポンサーの方にスポンサーバッジを授与して感謝をしたいと思います。



- 木田会員のスポンサー 仲社会長 瀧川パスト会長
- 高木会員のスポンサー 瀧川パスト会長 小川パスト会長
- 榎原会員のスポンサー 榎谷パスト会長 橋本(徹)会員
- 元田会員のスポンサー 梶山パスト会長 瀧川パスト会長

一年間増強にご協力ありがとうございました。

次年度幹事より 渋谷次年度幹事

- ①次年度上期分の会費納入をお願いします。
- ②本日、次年度の第1回理事会を実施します。

30周年実行委員会 小林副実行委員長

「海外からの来賓に関する報告とお礼」

海外からの来賓はすべて無事帰国され、それぞれから滞在中の我々の接待に対するお礼と感謝の気持ちを伝えてきています。

また、記念式典に対しても、その周到な準備と卓越したアイデアで極めて印象的であったとの感想を述べてきています。

すべての会員のご協力とご家族、特に仲辻会長と青木社会奉仕担当理事のお嬢様、そして尾家PPの御子息に改めて礼を申し上げます。

ニコニコ箱 勝副SAA

- ◆仲辻会長
一年間の会員皆様の協力に感謝して。
- ◆阿部会員
今年度役員の皆様、1年ご苦労様でした。
- ◆栢本会員
長年にわたり有り難うございました。
- ◆家村会員
仲辻会長、清水幹事、1年間本当に御苦労様でした。
- ◆尾家会員
仲辻会長、一年間お疲れ様でした。今後のご健勝ご活躍を祈念します。
- ◆小林会員
仲辻会長、清水幹事、各理事役員の方々、おつかれ様でした。
- ◆紙谷会員
今年度もニコニコ箱にご協力いただきありがとうございました。SAA紙谷より。
- ◆右松会員
一年間卓話にご協力ありがとうございました。
- ◆鈴木会員
仲辻会長及び執行部の皆様、一年間ご苦労様でした。感謝!!
- ◆高木会員
今日で今期の担当の親睦委員の仕事が終わります。ご協力ありがとうございました。

- ◆清水会員
いたらぬ幹事でしたが、一年間、本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願い致します。
- ◆田中(孝)会員
会長はじめ役員のみなさま、1年間ご苦労さまでした。
- ◆小川会員
仲辻会長、清水幹事、1年間おつかれさまでした。
- ◆荻田会員
会計1年間ありがとうございました。
- ◆阪本会員
今日で司会進行が終了します。一年間有り難うございました。
- ◆岡会員
会報委員の皆さん、一年間ありがとうございました。
- ◆島田会員
特になし。
- ◆橋本(芳)会員
今年度はありがとうございました。会長、幹事様おつかれさまでした。

本日のニコニコ箱	77,000円
累計のニコニコ箱	1,259,000円

卓話

「一年間を振り返って」 仲辻会長



- この1年間、会員皆様の御支援により、会長の大任を無事に終えることができましたことを、先ず心から御礼申し上げます。特に本年度は、創立30周年記念式典を迎え、30周年記念実行委員会の方々には、記念行事につき、叡知を集め、素晴らしい企画の立案と、それを実行いただき、海外から多数の賓客の参加をえて、成功裡に終了することができました。又、会員皆出席であったことは本当に喜ばしいことでした。

2. 2007-08年度の副会長、次いで会長エレクト、そして会長就任と準備期間が長く、会長としての1年は慌ただしく、アツという間に過ぎたというのが実感です。

3. 会長として

会長エレクト研修セミナーにH21.3.28参加、次いでH21.4.25の2009-2010年度の地区セミナーにも参加し、以後会長としてH21.7.6から今日H22.6.28までの例会（ナコンパノムへ行きました。H21.2.8、H21.2.15）、H21.6.29～H22.5.31まで12回の理事会に出席しました。

2660地区2組12RCの会議へ4回、江坂、茨木、吹田青年会議所のそれぞれの周年行事にも参加しました。式典参加の所感については、例会の会長挨拶の中で述べさせてもらっています。

4. 会として

2009-2010年度のビッグイベントの最初は、高木会員が、本会30年の歴史の中で最初の、そしてただ一人の女性会員として御入会いただいたことです。会に潤いを与え、明るさが増したことは間違いありません。

続いて木田会員、榎原会員の入会です。段々会員の老齢化の進む中、若い精新な会員の入会は、会に活力を与え、発展の原動力となるものです。

これら新加入の会員を迎え、会自体の活動については、6月14日の例会で、クラブ奉仕由上理事、職業奉仕坂口理事、社会奉仕青木理事、そして国際奉仕田中理事により、それぞれ詳細な報告がありましたので割愛させていただきます。

5. 所感

地区について

ロータリー地区は、ロータリークラブを支援するために存在します。と云われてますが、今回会長として、PETS（地区チーム研修セミナー）、2009-2010年度のための地区協議会に参加して感ずることは、ロータリークラブの支援ではなく、地区を代表するガバナーの施政方針を聞く会であり、上部団体より下部組織に対する命令伝達の機会であるとの感は否めませんでした。上意下達そのものです。

地区方針を述べていただくのは結構ですが、各クラブ独自の活動が、もっと自由であってよいのではないのでしょうか。

ガバナー訪問（ガバナー補佐の訪問）

近頃はだいぶ自由になりましたが、昔は私の古い記憶では、戦前の中学校に於ける配

属将校の査察を偲ばせるものでした。近頃では割合自由な対話が出来そうですが、それでも近頃の国会に似て、質問者は質問内容を事前に提出し、ガバナー補佐を通し、或いはガバナー自身が回答されているのは、何か堅苦しい雰囲気です。もっとザックパランな応答があってもよいのではないのでしょうか。

例会

本クラブの例会出席率100%は、驚くべき数字で結構なことですが、出席会員が喜んで出席し、実りある例会であるとされているのかどうか、いささか気になります。

この意味で、卓話の選択がむずかしいですが、高名な卓話者の招待も必要ですが、会員の身近な例、経験、気取らない意見の表明の方が会員にとって身近なもの、親しみのあるものになると考えます。

定款4条 綱領では

ロータリーの綱領は「有益な事業の基礎として奉仕の理想を鼓吹しこれを育成し……」とあり、

PETSでは、ロータリーの中核となる価値観の第1番目に奉仕が挙げられている。

又、例会で歌われる我等の生業では「奉仕の理想に集いし友」とあります。さらに最もより奉仕する者、最も多く報いられる超我の奉仕等々、ロータリー関係の文書では、奉仕の言葉がいたる所に使われている。これにつき、ロータリーの綱領の原文は、The Ideal of Service とあり、サービス理念とも呼ぶべきで、奉仕の理想は誤訳と云われている。

（菅生氏 ロータリーの真髓 4頁）

奉仕かサービスか、いずれが正しいかは別として、事業の基礎たりえるか、或いは育成するとは何を指すのか、非常に分かり難いと思います。そして、その奉仕活動がロータリー活動として、具体的に会員に表されるのは、地区大会に於ける各所属クラブの活動（国際或いは地域）の表彰であり、各クラブに於ける財団への寄付の有無、回数、の標記等です。

確かに、何処のクラブがこのような奉仕活動を行ったことによる意義ある業績をたたえること、又、個人の寄付行為をたたえることは必要かも知れませんが、表彰や標記については違和感を覚えます。これが進んで寄付の多寡を表示することは、奉仕活動を金銭面のみで評価する弊害が出てくるのではないのでしょうか。

表彰を受けるために特定の活動を始めるのは本末転倒と云うべきでしょう。奉仕活動には能動的な面とともに、受動的な面も考

慮することが必要ではないでしょうか？奉仕を受け取る側について、真心のこもらぬ奉仕は受け入れるのに抵抗を感じるか、或いは感謝の念の生ずる余地のないものになるのではないのでしょうか。

受け入れる立場の方々にも十分な配慮が必要と考えます。更に奉仕というのは結果ではなく、その奉仕活動自体に喜びを感じるものであるべきではないのでしょうか。

わがクラブ創立30周年記念誌の中で、2005-2006年度、河邊哲郎会長は、基本方針として「行動から喜びを」をモットーとされています。結果も大切ですが、その過程に喜びを求めると理解したく思います。私の恩師の好きな和歌ですが、

この秋は風か嵐か知らねども
今日一日の田の草を取る

結果は自然についてくる。それまでは自己の信ずる行為に専念するということでしょうか。

堅苦しい話になりましたがお許し下さい。私が常々ロータリー活動について感じていた事を申し述べました。

— クラブ俳句同好会 —

第二百七十二回句会

兼題

「梅雨入り」「紫陽花」及び雑詠

憲治「特選」

紫陽花の彩を仕上げてゆきし雨	「主宰の一句」	カフエテラス四葩を揺らして午後雨	紫陽花の花を見ずして萼を見る	胸浅く掛けて安堵の夏蒲団	たたみでは両手にあまる鯉幟
憲		みかよ	ときよし	山	あきら
治				牛	

【今後の予定と兼題】

第二百七十三回句会 平成22年7月5日

兼題 「うちわ」「西瓜」当季雑詠 ※出句は7句

— 2009-2010年度 理事 —



～ 一年間お疲れ様でした ～